

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野県菊いも活性化プロジェクト
事業主体 (連絡先)	一般社団法人サキベジ推進協議会 (事務局長・大月 080-7768-0603)
事業区分	地域協働の推進に関する事業 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,223,800円 (うち支援金: 979,000円)

事業内容

栽培体験講座を通して、菊いもを食用し、野菜を先に食べる習慣を身につけること、定年退職後の高齢者が引きこもりにならないようなコミュニティ手段の1つとして、菊いも栽培体験講座の取り組みをパンフレット化して菊いもというコンテンツを通して高齢者の新たな挑戦やコミュニティのきっかけ、生きがいへのお役立ちになること、コミュニティの場として遊休農地を活用することで農地の荒廃を防ぐことを主に取り組んだ。



【目標・ねらい】

- ① 地域コミュニティ形成
遊休農地活用
(高齢者の引きこもり防止)
- ② PR パンフレットの活用

事業効果

① 地域コミュニティ形成

栽培体験講座の参加者は23名と少なかったが、松代西条地区で話題になり、参加者が意欲的に自分の地域へこのノウハウを持ち帰って、近所の高齢者へ呼びかけて地域で実践したいなどこれから地域づくりのための動きが見えてきた。

② PR パンフレット

パンフレットは口コミでも噂が広がりを見せたことや、大学に提供することで学生の皆さんにも地域の問題に関心を持っていただくきっかけや、介護施設などでもデイサービスや地域包括ケアセンターなどにもお配りすることで関心を持っていただけた。

※自己評価 【A】

【理由】

パンフレットを制作、配布後より多くの地域の方から、我々の地域でも遊休農地を活用してコミュニティを深める活動をしたいなどの相談が寄せられ、予想以上の反応があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長野市を中心に6地域や団体にお問い合わせいただいていることから、今後は遊休農地解消に向けての取り組みを推進することと、菊いもを多くの世代の方に幅広くPR、商品開発なども行う他、片手間でシニア層にも負担が少なく栽培できる野菜の耕作、観光農園・市民農園も展開を目指し、地域のコミュニティ形成、お互いが支え合える社会を作っていく活動を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある